

令和4年度 学校教育活動保護者アンケート 都留市立禾生第二小学校

＜評価項目＞ とてもそう思う：5 そう思う：4 どちらともいえない：3 あまり思わない：2 思わない：1

※肯定的意見（5・4が全体に占める割合） ※否定的意見（2・1が全体に占める割合） アンケート回収率 84.3% (107/127)

1 学校経営・学校生活について

NO	質問内容	平均	肯定的意見	否定的意見	どちらとも
1	学校では、学習内容を習得させるべく適切な授業が行われている。	4.24	86%	0%	14%
2	学校は児童の間違った行動に対して適切な指導が行われている。	4.10	81%	1%	18%
3	学校では、教育環境の整備を適切に行っている。	4.04	81%	4%	15%
4	学校では、安全対策を適切に行っている。	4.03	79%	6%	15%
5	教師と児童の間に、信頼関係が築かれている。	4.30	86%	3%	11%
小計		4.14	83%	3%	15%

【考察】

学習指導・授業については、適切に行われているという回答でした。今後も、授業改善や指導法の工夫をとおして、すべての子どもにとって「楽しい授業」「わかる授業」を目指し、指導力の向上に努めていきたいと考えています。生徒指導については、概ね「適切に指導が行われている」という回答でした。児童が学校でいきいきと学んだり、楽しく活動したりするために、今後も、児童一人ひとりに寄り添い、児童理解に努め、信頼関係を築いていきたいと考えています。さらに、児童自身が、自らの行動を振り返り、より良い行動へ改善していけるようにするために、生徒指導や教育相談の充実にも努めていきたいと考えています。

教育環境の整備や安全対策については、肯定的な回答がほとんどでした。災害や事件・事故は、いつ起きてもおかしくない時代です。今後児童の安全確保を第一に考え、保護者や地域、関係機関と連携を図りながら、適切に整備・対策を進めていきます。

2 児童の様子について

NO	質問内容	平均	肯定的意見	否定的意見	どちらとも
6	児童は、学校へ行くことを楽しみにしている。	4.26	83%	3%	14%
7	児童は、学校の様子を家庭で話している。	4.02	74%	5%	21%
8	児童は、授業内容を理解している。	3.91	73%	5%	22%
9	児童の友達関係は、良好である。	4.17	86%	2%	12%
10	児童は、家庭や地域であいさつができています。	4.11	81%	4%	15%
11	児童は、早寝・早起き等の生活習慣が身についている。	3.81	62%	4%	35%
12	児童は、家庭での学習習慣が身についている。	3.73	64%	10%	26%
小計		4.00	75%	5%	21%

【考察】

学校へ行くことを楽しみにしているという回答がほとんどでした。これからも児童理解に努め、どの子どもにとっても「楽しい」「学校に行きたい」「学びたい」と思える学級・学校づくりに取り組んでいきたいと考えています。授業については、授業改善を図りながら、学習内容の定着を図っています。今年度は、9月から一人1台タブレットが支給され、授業の中で活用しています。また、教員もタブレットや電子黒板等を活用した授業を行っています。これからの時代を生きる子どもたちに必要な力をつけるために、教員の指導力の向上に向けて今後も研究を積み重ねていく必要があると考えています。また、学習内容の定着には、家庭学習の習慣化も大切です。これまで以上に家庭との連携に努め、より一層の定着を図っていきます。

あいさつは、学校では、児童会や委員会の取り組みなどで、自分から進んであいさつすることができるようになってきました。さらに、家族や地域の方にも進んであいさつができるようにするためには、学校だけでなく、家庭やPTA、地域の方と連携を図りながら取り組んでいきたいと考えています。早寝・早起き等の生活習慣や家庭学習の定着については、達成度がやや低い状況です。保健や道徳の授業や、学級活動の時間等に、その大切さについて伝えていきます。最近は、子どもたちから、「ゲームやSNSに触れる時間が多くなり、学習に向かう姿勢が身につけていない。」と聞きます。学校での授業に影響を与えることも多くなるので、改善していくことも必要になってくると思われます。睡眠については、睡眠不足が続くと、学校で眠くなったり、集中できなくなったりするなど、学校生活に支障が出てきます。基本的な生活習慣の確立のために、今後も学校と家庭が連携しながら取り組んでいけるような体制を整えていきたいと考えています。

3 保護者の学校教育への関わりに関して

NO	質問内容	平均	肯定的意見	否定的意見	どちらとも
13	P T A 活動は、有意義に進められている。	3.79	65%	4%	31%
14	学校は保護者にとって連絡をとったり、相談したりしやすい雰囲気がある。	4.00	79%	8%	13%
15	災害時など緊急時の、下校の時の対応の仕方や児童の引き取り方を理解している。	4.18	82%	0%	18%
小計		3.99	75%	4%	21%

【考察】

P T A 活動は、今年度もコロナ禍ではありましたが、奉仕作業や授業参観など工夫しながら実施することができました。その中で、運動会では、感染対策をしながらも人数制限を解除し、多数の保護者に参加してもらいました。運営や片付けにも積極的に協力していただき、無事に終了することができました。今後も、保護者とともに子供たちを育てるための活動を継続して進めていきたいと考えています。子どもたちのよりよい成長には、学校と家庭が共通理解を持ち、協力して指導にあたるのが大切です。必要なことは、こまめに連絡を取り合うようにしていきます。

非常災害は、いつ起こるかわからないという前提のもと、災害時の対応の方法について常に確認し、家庭や地域、関係機関と連携した取り組みを進め、さらに徹底を図っていきます。

◎その他（学校教育をより良いものにするための提案・意見）

【考察】

・ 16名の方から、ご意見をいただきました。

令和3年度に引き続き、令和4年度もコロナウィルス感染拡大防止の影響がありましたが、多くの行事を復活させて行うことができました。保護者の皆様には、ご不便をかけた面もありますが、少しずつ日常が戻ってくるのが実感できた1年だったのではないのでしょうか。そのような中、さまざまな面で学校の取組にご理解とご協力をいただいたことに感謝申し上げます。また、コロナウィルス感染拡大防止のため、保護者の皆様には、マスク着用や、検温等、様々な面で協力していただきました。ありがとうございました。感染症予防には、今後も引き続き気を引き締めて行っていきたいと考えています。

学力向上、基礎学力の定着については、今後も児童理解に努めながら「わかる授業・楽しい授業」を行うため研修を重ね、取組を行っていきたくと考えています。また、一人一台タブレット端末が導入され、ICT教育がますます重要になってきています。これについては、教員が研修を積み重ね、児童の学力向上につなげていきたいと考えています。

生徒指導上の課題については、教職員が協働して指導にあたり、改善を図っていますが、さらに充実したものになるよう、教職員一人一人が、生徒指導や教育相談のスキルを高め、安心・安全な学級づくり・学校づくり今後も務めていきます。さらに、スクールカウンセラーの活用や関係機関との連携を図りながら、教育相談の充実を図っていきたくと考えています。

学校の設備に関しては、トイレの修繕が課題としてあります。市に働きかけている状況なのでこれからの改善を強く望みます。

学校の取組や児童の様子を知っていただくためにも、今後も、学年だよりや学校だより、ホームページ等を通して、児童の様子を発信していきます。